

今年の猛暑
エアコンが設置されて良かったね

でも?!
小中学校の
空調設備の設置費用
は適正か?

今年の梅雨明けは、例年に比べ3週間位早まりました。梅雨明けと同時に、真夏の暑さを記録しようです。今年は6月11日から小学校も空調（エアコン）が使えるようになりました。これで一安心と思いきや、市民の方から「教育現場への空調設備の設置費用が高すぎるのでは？」というご指摘をいただき一般質問で取り上げました。

◆主な質問項目◆

- ①小・中学校の空調設備の熱源をめぐって
- ②室外機の設置場所による予算コストをどのように考えたのか
- ③他市のエアコン設置の先例をどのように参考したのか
- ④小中学校の空調設置数について
- ⑤一台当たりの工事費について



一教室当たりの工事費を比較

野田市 (*)	410万円
野田市	352万円
流山	256万円
船橋市	277万円
鎌ヶ谷市	356万円

(*)は、発電所から送られてくる高圧な電気を変圧する受電設備の工事を実施し、その費用を含めた額。



小室みえこのコメント

①～⑤の質問に対して、それぞれが適正であるという答弁でした。また、過剰な金額ではないかという質問に対して「何が過剰だということか？」と逆に質問されました。今議会の答弁を踏まえた上で次回以降の質問につなげたいと思います。

堆肥センターの剪定枝堆肥

市民の利用は

終わってしまっただの？

小室 平成28年度から試験的にではありますが、市民が堆肥を利用できるようにになりました。その反応はどうであったかお聞きします。

市長 大変好評で、往復はがきで申し込んでいただき抽選という形で配布してきました。

28年度 686件 64.8t
29年度 666件 72.8t

また、アンケートによると継続を希望する割合が

28年度 98%
29年度 99%

大変好評でした

野田市堆肥センター



終わっていません!!

9月から再開します

これまで、年5回でしたが、9月から再開し毎月1回第一日曜日に利用できるようになります。



議案の賛否

土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の制定

反対

これまで一般質問でも取り上げてきた再生土に関する条例の制定です。野田市は、基準を厳しくして再生土を活用しようとする考えです。しかし、基準を厳しくしても検査を6ヶ月から3ヶ月と頻度を上げても、リスクは伴います。また300m以内に隣接する土地の所有者や近隣の住民の同意を得るとはいえ、10分の8の同意であることなど市民生活に影響を及ぼす心配があり反対しました。今年2月現在条例を制定した12市5町のうち再生土を禁止したのは約半分の7市1町です。